



幾つもの春

私の故郷は広島県の鞆の浦。坂本龍馬も立ち寄ったと言われる潮待ちの港町だ。映画「崖の上のポニョ」の舞台としても有名になり、週末は観光客で賑わっている。路地を走り回



那賀川町
笠谷 由香里さん

そして、私の新たな人生がスタートした。娘たちを授かり、家族が増える喜びを味わった。幅広い人脈の中での出会いに魅かれ、ものの見方や考え方を学んだ。見知らぬ土地を訪れては、体験欲を満たした。いつも協力し、支えてくれた家族には、とても感謝している。

る好奇心旺盛な幼少期、バレエボールに夢中だった学生時代を経て、尊敬する祖

4年前の春、再び教職に就くことができた。目の前の子どもたちと触れ合う日々はとても楽しく、あつという間に4年が過ぎようとしている。誰と出会うか、何と出会うかで人生は

父の影響から教師の道に進んだ。今でも故郷は、懐かしい思い出や家族の温もり、愛情が溢れている大切な場所だ。

19年前の春、担任した6年生が

卒業すると同時に結婚退職を決め、徳島に住むことになった。念願の教師になり、はりきる姿を見ていた周りの誰もが驚くほどの潔さ!?

次は、羽ノ浦町の千田弥生さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市文化祭
短歌大会 作品

入選

止まるたび四枚の羽を一枚にとじるお羽黒蜻蛉幽けし
入谷五十鈴

入選

西空に入道雲の並び立ち帰路急く我を威嚇するなり
常松 英江

入選

頑なに生きいる吾を見下ろして雲は自在にかたち変えゆく
湯浅 久枝

入選

軒下の蔦の落葉を掃く日課人の気配のなき早朝に
榎本 薫子

入選

花色を好みし母も杏なり肌によさしき花色もめん
吉形 和恵

入選

雨の駅独り居て見る雨脚と同じ速さで降る蝉時雨
島尾 妙

入選

亡夫の香の微かに残るポケットから百円玉がポロリとふたつ
真田美代志

初雀来てはとびたつ石畳

手塚 真帆

初句会八十路の籠を締め直す

和泉ミサヲ

書き初めは必ず勝つと書きにけり

萩原 陽子

縫初はガーゼ二重のよだれかけ

大西 裕子

枯芝に宿りて青むもの目立つ

吉田 當代

春を待つ心いはずや山暮

宇川 延子

新船の名は妻の名よ漁始

田村 清朔

鈴の鳴る福笹持たせ肩ぐるま

数藤 耕風

一羽来て二羽来てどつと初雀

近藤 匡恵

川柳

阿南川柳会
高木 旬 笑 選

大空を蹴り上げている逆上り

鈴木レイ子

脇役で土の匂いも知っている

二階千代美

真つ青な空があるから救われる

武田 敏子

診察待ち退屈しない話好き

林 満子

歩調合う君だから来た夜のデート

佐野 智子

俳句

阿南市俳句連合会選

平野 貞子

この上の欲は御法度初燈